

## 事後評価調書

I 事業概要						
事業名	道路事業（道路改良事業）					
地区名	一般県道 南大須鴨田線					
事業箇所	岡崎市滝町地内					
事業のあらまし	一般県道南大須鴨田線は旧額田町の山間部から西に向かい岡崎市の市街地に至る幹線道路であり、現況の狭隘区間を解消し、地域間の連絡強化に寄与するものである。さらに歩道整備を同時に行うことにより歩行者の安全性を確保することを目的とした事業である。					
事業目標	<p>【達成（主要）目標】</p> <p>⑧山間や離島の暮らしを支える社会資本の整備（山間地域の自動車交通の円滑化及び歩行者・自転車の交通安全性の向上）</p> <p>【副次目標】</p> <p>なし</p>					
事業費	事業費		内訳			
	4.1 億円		□工事費 1.2 億円、□用補費 2.7 億円、□その他 0.2 億円			
事業期間	採択年度	平成 18 年度	着工年度	平成 18 年度	完成年度	平成 20 年度
事業内容	バイパス整備（L=0.7km、2 車線）					
II 評価						
①事業目標の達成状況	1) 主要目標の達成状況	<p>【達成状況】</p> <p>車道幅員 3.0m にて 2 車線を確保し、歩道（幅員 2.5m）の整備も行った。</p> <p>【達成状況に対する評価】</p> <p>十分な幅員にて車道 2 車線を整備し、未改良区間を解消したことにより、円滑な自動車交通が確保され、地域間の連携に寄与している。あわせて歩道を整備したことにより、歩行者の安全性向上も図られた。</p>				
	2) 副次目標の達成状況	<p>【達成状況】</p> <p>なし</p> <p>【達成状況に対する評価】</p> <p>なし</p>				
III 対応方針						
今後の事後評価の必要性	車道幅員 3.0m にて 2 車線を確保し、未改良区間の解消が図られたこと、あわせて歩道を整備し、歩行者の安全性向上も図られたことから、主要目的は達成しており、今後の事後評価は不要と考える。					
改善措置の必要性	車道幅員 3.0m にて 2 車線を確保し、未改良区間の解消が図られたこと、あわせて歩道を整備し、歩行者の安全性向上も図られたことから、改善措置は不要と考える。					
同種事業に反映すべき事項	特になし。					